



王滝小学校新1年生

26年度一般会計当初予算・3施設指定管理者の承認	2P ~ 6P
一般質問他	7P ~ 12P
木曽広域連合議会2月定例会報告	13P

# 26年度一般会計当初予算を可決

## 総額16億1,196万8千円

対前年度比 2.3% 3,872万4千円の「準骨格型予算」

3月定例議会は3月7日に開会、3月18日に再開し、平成26年度当初予算案を含む計29議案全てを原案どおり可決し閉会した。26年度一般会計予算は、2月の村長改選にかかる通常の「骨格予算」とはせず、企画費、社会保障関連費、教育費について拡充を図るなど一歩踏み込んだ「準骨格型」となった。

### 【主な歳出予算】

#### 御嶽山の飲用水組合施設に474万円

送水ポンプ施設更新のため、二の池飲料水組合に助成するもの。負担割合は、王滝村、木曾町、組合それぞれ3分の1ずつ。

#### 小水力発電関連事業に297万円

25年度の避難所（福祉センター）太陽光発電装置の継続事業として近くの用水路を利用して小規模水力発電をおこなうための施設設計監理委託料として81万円。

農業用水路での小水力発電の立地等可能性の基本調査事業費として216万円。（うち国の補助金200万円）

#### 地域おこし協力隊員を5名に増員、事業拡充に2,115万円

25年度からの新規事業で都市からの若者を短期移住者として受け入れ、村が示す活性化策に資する業務を幅広く行うもの。26年度は身分保障などの処遇改善を図り5名体制として事業の継続拡充を行う。貸与する車両、住居、パソコンなどの物件費を含む全体費用のうち2,100万円が国からの交付金（地方交付税）で賄われる。

#### 空き家対策に100万円

空き家利活用対策として個人の空き家住宅を改修する補助金。

#### 観光施設改良に625万円

松原スポーツ公園の屋内ステージ改修と砲丸投げ、走り幅跳び設備に442万円。滝越オートキャンプ場のトイレ改修183万円。

#### 観光総合事務所の事業負担金263万円

観光総合事務所がおこなう独自事業の負担金としてハーフマラソン大会に167万円、新規となる御嶽湖カヌー事業に96万円。

#### 村道の改良、橋梁修繕に1億2,788万円

継続事業として八海山下の村道41号線の国庫補助改良事業に9,061万円、橋梁修繕及び計画設計外に3,727万円。主な財源は国の補助金及び過疎債を充当する。

#### 村誌編纂事業で製本配本、学校教育で村雇用教員を増員

村誌編纂事業として本編1冊、ブックレット（簡易版）1冊の印刷製本費420万円。

村雇用教員（学習支援員）を1名から2名に増員する賃金の増として931万円を計上した。

# 当初予算質疑応答

問（田中）

歳入の半分以上を占める地方交付税は8億9千万円だが、国の地方経済対策として加算されている臨時分を引くと7億円を下回り、今後も下方に推移するとの説明だ。そうすると、村税相当分が歳入からそっくり消える勘定になり、単独事業などもはや不可能ではないか。

答（村長）

H27年度には（地方交付税の算定ベースとなる）国勢調査がある。人口など村にとっては非常に厳しい基礎数値になる見込みで、何らかの激変緩和措置を期待している。地方交付税の見通しは、その通りで厳しい。

問（田中）

現在の村債残高（村の借金残高）は22億2千万円でその内総額17億5千万円は毎年の元利償還金の一定額が地方交付税として還元される言わば割引券付き借金だ。前述したように今後、歳入が厳しくなれば過疎債などのバック財源付の借金に頼って単独事業を行うしかないのではないか。

答（村長）

守るのか攻めるのか、という財政論になるが、現在の財政調整基金（村の貯金）残高からして、例えば特定の事業に過疎債を一点重点的に投入することも全く不可能ではない。ただ、スキー場債務問題の苦い経験から私としては、財政リスクを伴う大きな借り入れ投資を避けて、少しでも基金を積み増すという指向にどうしても傾く。

問（田中）

企画費、100万円の空き家改修補助金の考え方とその手法は。

答（企財課長）

25年度に実施した空き家アンケートで、貸す気があってもなお、村の空き家情報に載せてもよいと答えた住宅の改修費補助金だ。総経費の2/3以

内で100万円の限度額を当面の頭出し予算とした。

問（田中）

実際に移住者の借り受け希望があるのかというリサーチが先ではないか。

答（村長）

村のホームページなどで「しっかりとした空き家がある」という現実的な呼びかけをしないことには移住希望者の心が動かない。

問（田中）

企画費の地区活性化構想策定委託料156万円、小水力発電電設計監理委託料81万円、再生可能エネルギー調査委託料216万円の3つの委託業務のうち地域おこし協力隊が実際に請け負える業務があるか。

答（企財課長補佐）

地域活性化基本構想の実施レベルの一部が地域おこし協力隊の今後の主な仕事になるが、この構想策定の委託先は大学とかコンサルを想定していて、協力隊は、身分が今年度から村の臨時職員となるので、受託できない。協力や助言はあるかもしれない。他の2つの委託業務は協力隊とは直接関係がない。



地域おこし協力隊のみなさん（4名）

問（田中）

地域おこし協力隊事業について

隊員の身分がどう変わるのか、また社会保険の個人負担はどうか。

**答（企財課長補佐）**

臨時職員の嘱託員として村が直接雇用する点が前年と違う。雇用契約によるものだが、年金、健保、雇用保険の個人が負担する社会保険料は月額24,000円でこれを控除した手取り月額は、143,000円ぐらいになる。

**問（田中）**

3年を限度とする不安定な短期雇用で報酬も充分でない現実では、本当に欲しい人材を採れないのではないかと。今は山間地の活性に気概を持って取り組もうという若者が集まっているが、雇用期間とか年収でもう少し踏み込んだ条件も考慮すべきではないか。

**答（村長）**

この事業を安定化させて実をあげるにはそのとおりだ。具体的な処遇等は未だ考えていないが、別途検討してみたい。

**問（田中）**

この総事業費が2,114万円でそのほとんどが特別交付税で財源措置されるという予算内容だが、県から算定根拠が明示されて確実に見込める歳入なのか。

**答（総務課長）**

以前には特別交付税の算定根拠が示されず、曖昧だった時代もあったようだが、現在は内容が開示されるので問題はない。

**問（田中）**

スポーツ公園の砲丸投げなどの施設については、陸上競技関係者の希望的な話ではなく、整備した結果、利用者や合宿入込がこれだけあったという結果数値を決算書に明記すべきだ。また、滝越のオートキャンプ場のトイレ改修については、地区内に水洗トイレが未設置の現状から、指定管理者と協議して、オートキャンプ場まで行けば誰でも利用できるコンポストトイレがあるという案内をすべきだ。

**答（産業課長）**

2件ともに質問趣旨に沿うよう調整したい。



松原スポーツ公園 陸上競技場

**問（田中）**

御嶽山の火山防災について

火山ガスの検知器の更新など78万円を計上しているが、せっかく村の単独事業として保安監視体制をとっているのに、検出データ等を国や県を含む連絡会議などに示してアピールしていく必要がある。そうすれば避難所としての王滝頂上山荘の改修支援も将来的には要求できるのではないかと。

**答（村長）**

気象庁は国としての噴火予知観測体制を敷いている。多治見砂防事務所とは国の直轄砂防事業の中で御嶽山火山防災についても一部所管している。御嶽山は長野県だけのものではないので、岐阜県も入らなければ意味がない。この程、連絡会議がようやく組織されたような現況だ。

**問（立花）**

企画関係で2点。地域活性化基本構想策定業務委託の25年度分にあたる基本計画ができる頃かと思うが、どのような形で示していただけるのか。次に地域おこし協力隊の活動経費は、総務省からの1人当たり200万円という枠の中でどのように配分していこうと考えているか。

**答（企財課長）**

報告書は紙媒体で5部のほか、電子媒体で納品される。ホームページで公開可能だが、ダイジェスト版としたい。

**答（企財課長補佐）**

地域おこし協力隊の活動費はそれぞれの隊員のめざすものによって変わってくるので、申請していただき配分していく。

**問（立花）**

地域おこし協力隊が定員に満たなかった場合、年度内に再募集するのか。また、隊員の住宅は空きのある村営住宅を考えているのか。

**答（企財課長補佐）**

無理に再募集はせず、他の事業も考慮して必要があれば募集していく。住宅については、活動経費から支出のできる民間の空き家を探している。

**要望（立花）**

活性化基本計画は村内にはダイジェストではなく、フルスペックで示していただきたい。

**問（立花）**

産業関係で2点。村有林経営一般経費が昨年比で158%と大きく伸びている。村有林経営計画に従って実施されていると思うが、今後の見通しについて伺いたい。次に総合事務所事業負担金は元気づくり支援金の自己財源との説明だったが、これには観光総合事務所が申請したのか。



平成25年度実施の大又地区緩衝帯

**答（産業課長補佐）**

2016年までの村有林経営計画に沿って実施している。5年で130haを予定しており、26・27年は塩尻にできるバイオマス工場の関係で倍の面積を計画していた。しかし詳細が定まらず、25・26年にかけて計画の変更を考えており、バイオ

マス工場の詳細が明らかになってから、計画を新たに作り直す。造林事業の内容としては、全体で21.76haを予定。台風による倒木処理に216万円のほか、九蔵の緩衝帯整備を予定している。

**答（産業課長）**

元気づくり支援金の申請は観光総合事務所である。

**問（立花）**

通常、元気づくり支援金の自己財源は、その団体の一時借入か、つなぎ資金かと思うが、今回この自己財源分が村の当初予算に盛り込まれた経緯について伺いたい。

**答（産業課長）**

一般の団体ならつなぎ資金を利用するのが普通であるが、村の長期振興計画でも観光総合事務所と連携して観光地の整備やツアーガイドの養成や活用などを村で計画しているが、実際は観光総合事務所ですべてをやっていただく。観光総合事務所の理事には観光担当課長が充て職として入っており、一般の民間団体とは違う位置づけで事業をやる際は村として負担金を出している。また、観光総合事務所の事務も村職員が担当している。

**問（立花）**

消防で1点、教育で1点伺いたい。防災計画委託料は25年度からの継続事業だが、全体像がわからない。この事業は26年度で終了する事業なのか、また現時点での進捗状況は。次に教育、村誌編纂費の内容は、以前全員協議会でいただいた資料のとおり自然編と歴史編の2冊刊行を盛ってあるとの認識でいいか。

**答（総務課長）**

防災計画は25年度から見直しを実施しているが、繰越事業となる。スタンダードなものであれば25年度で終了したが、あらゆる想定のもと多岐にわたるものにするため、膨大なものになっている。25年度末で25年度予算の90%まで終了している。25年度末に土砂災害、土石流の危険区域が特定されるが、その後計画に盛り込まなければならないものがあるため繰越事業となる。また御嶽山噴火対策もようやく県の動きが出てきたため、これも取り入れていく。



昨年発行のブックレット

**答（教育次長）**

印刷製本費は1冊分、執筆報酬と資料提供は2冊分を予定しているが、今後変更される場合もあるため、編纂委員会、庁内、村有識者、議会等に詳細を説明できる状態にない。予算としては村誌編纂事業を進めていくということで提案している。

**要望（立花）**

村誌の配布方法については村民の意見を広く聞いた上で、無駄のないよう進めていただきたい。

**問（西村）**

課設置条例の一部を改正する条例について課の名称変更や係の入れ替えなど、村長の3期目にかかる意欲の現われと理解するが、職員をどのように配置して使っていくかということが肝要と思われる。以前から庁内の横のつながりがうまくいっていないとの村民の批判があるなかで、職員の意識を変えていくことが求められると思うが、意識改革のための具体的な取り組みを考えているか。

**答（村長）**

ご指摘の点については認識しているが、仕事に人がついていくといったような現状もあり、難しい面もある。今後は反省を活かしながらよりコミュニケーションを深めていきたい。ただ、完璧にやることは無理である。

**問（西村）**

やりもしないうちから無理だといっているようでは困るが、いずれにしても村長が細かなことまで気かけなくても済むように、また、村民から批判を受けないように課長以下の職員も留意して仕事をしてもらいたい。

## 3 施 設 の 指 定 管 理 者 を 承 認

村では、以下の3施設の指定管理者について指定したいとして議案を上程し、それぞれ承認された。

王滝村木材工芸品等加工施設

「王滝木材加工企業組合」代表理事 秋山智宏

王滝村物産販売所

「翌檜くらぶ」代表 下出さち子

おんたけ銀河村キャンプ場

「株式会社 御嶽リゾート」代表取締役 一ノ本 達己



指定管理が決まった「銀河村キャンプ場」

との施設については、申請者はそれぞれ1者のみ。については、2者からの申請があった。2月24日のヒアリングの後、庁内の選定委員会により決定された。指定期間は本年4月1日から平成29年3月31日までの3年間となっている。審議の中で、については、厳しい経営状況もあり更なる支援はできないか。

については、既存業者との競合を招かないような指導も必要では。については、スキー場営業期間と重なるが従来どおり4月末からの営業を確実に実施すべき。また、地元からの雇用も継続すべき。などの意見が出された。

# 一般質問「そこが知りたい」

本文は質問者の執筆をもとにしています

## 村内事業体の再編及びその他の産業振興策による雇用創出について

田中秀夫

観光入込客の減少、国産材の価格低迷、公共土木事業の減少のほか年々高齢化が進む村内の経済活動は著しく縮小し、近い将来には集落の住環境の維持すら危惧されている。外部との交流を盛んにして「金と人の流れを呼び込む」ことが重要だが、自助努力とりわけ若者定住に結びつく雇用の場の創出を柱に据えた施策が急務だ。このことについて以下の提案をするものだが、村長の見解を求める。

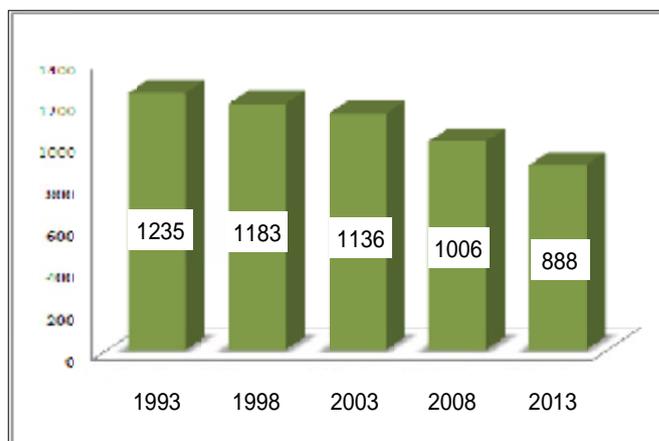
**問** 民間の林業、土木、製材、木工、農産加工など零細な個々の事業体を第3セクターあるいは公社など村が前面に立ったスキームで再編を図り、住環境維持など暮らしに密着した新たな仕事も広く行う事業体を組織し、幾人かの若者の雇用を生み出すこと。

**答** 村の総人口の減少もさることながら、生産年齢人口の減少が深刻だ。自助、共助、公助による暮らしの維持も次第に難しくなっている現状もそのとおりだ。村の定住人口については増加というより現状維持でも精一杯というのが正直なところだ。ご提案の事業体の再編だが、身分・待遇などの面で村が担保すれば大変有効な手法になるかもしれないが、現状では時期尚早だ。相手が民間事業体ということで慎重な調査と合意づくりが必要だ。この4月から発足する村づくり推進課を中心に広く分野横断的に論議を進めていきたい。

**問** 今から10年後にどの職場にどんな技術者や職人が何人いるのだろうと考えると空恐ろしくなる。総合的な村づくりの中で検討、研究するという悠長な話では手遅れになる。王滝村と条件が似通った全国の町村の例を幾つか調べてみたが、必ずしも成功事例とは言えないまでも、自治体が主

に木材関連企業などを中心に束ねている例は幾つかある。民間企業のこと、慎重にということは当然としても、一步でも具体的に進めないと早晚行き詰ることになる。調査だけでも直ぐ始められないか。

**答** 始めから「村ありき」の考え方は如何なものか。村の資源である御山とか森、水を今一度住民が考えながら村づくりのベクトル（方向性）の共通認識というか共有することが先決だ。リサーチとか研究もこの後の段階になるものと考えている。



王滝村の人口の推移

**問** 過疎地の国土保全、定住対策として営農組合などが行う住環境維持事業などにも国が支援する仕組みも今後有り得るのではないか。新しいビジネスの受け手として前述したような事業体も位置付けできる。国の支援が有る、無いに拘わらず山、農地を含む広い意味の住環境維持は誰かがやらなければならない。

**答** 少なくとも住環境の維持が仕事になるほど手厚い支援が国から出るとは思わない。ただ、農地や自然資源を活用した例えば木質バイオマスなどで新ビジネスの可能性はあると思う。

**問** 国内にとどまらず国際的にも「修験道 天台宗等の密教 御嶽山（御嶽教）の延長にある聖霊の地」というイメージを前面に打ち出した発信とサービス供与をおこなう。「聖霊の宿る地 御嶽王滝」のイメージ発信と合わせて地場食材や優れた自然の保全などを前面に打ち出して新たな観

光需要を生むという趣旨だ。観光総合事務所のイメージコピーとして「スピリチュアルロード おんたけ王滝」「いのち呼び覚ますところ」という真に素晴らしいものがあるが、残念ながら観光の共通認識として定着しているとは思えない。

**答** 村は以前から色々な観光リサーチをやってきたが、「魂の宿る聖霊の地」というのは共通したイメージだ。そういう村が王滝なので、観光だけでなく、今後の村づくりの総合戦略としてもしっかり捉えて取り組んでいく必要を感じている。

**問** 御嶽温泉（王滝の湯）の活性化。  
王滝の湯は当村唯一の温泉として価値が高い。当初、温泉を村落まで引くまでの仮施設という位置付けのまま今日まできている。一定の面積に環境整備、造園を施し施設型ではない秘湯型温泉として木質バイオマスの熱源利用も含めて現地再生をはかるという案もあるが。

**答** 引湯しての温泉施設の再整備は昨今の村の財政状況ではとうてい無理だ。ご提案は参考に値するが費用対効果、バイオマスの研究を含めて検討すべきだろう。



王滝の湯

**問** 袋小路の解消。  
御嶽山黒沢口との将来的な交通を図るため、「林道木樽線」に接続する林道を開設すること。

**答** 岳麓縦貫道として位置づけられた当路線の開設については、当時の民意が賛同せず、棚上げとなったという経緯も踏まえながら慎重に扱う必要がある。

**問** 村長の答弁では温泉も林道接続も当面やらないということになるが、温泉の揚湯ポンプは何時止まっても不思議ではないし、林道については、徒歩でもMTBでも、とりあえず通れるだけの接続が大事だという提案なので現実に即した対応を検討されたい。

## 学校のあり方について他

三浦征弘

### 学校のあり方について

**問** 木曾町三岳では中学校の統合の話が進んでいるようだ。これについて王滝の場合で、村長の考えをお聞きしたい。

**答** 少子高齢化で近い将来10人未満になることが予想されるが、たとえ生徒が一人になっても学校を維持して行く考えである。

### 物品販売所のあり方について

**問** ここに村は今までに多額の予算をかけている。新聞にも大きく載った。世間では「王滝村の道の駅」と受け止める者もいる。しかるに冬は閉鎖らしい、これで良いのか。

**答** 村としては通年がベストだが採算を考えると難しい。物品販売所と道の駅は本質的に違っている。

### 地域おこし協力隊について

**問** 資料を続んでも、説明を聞いてもよく分からない。端的に言って何かを教える指導者なのか。

**答** 総務省による人材確保を図り、一人400万円の特別交付税が入る制度である。

### 村道38号線について

**問** 村道の滝越線で道路の川側にある国有林が日陰になり、路面が凍結する。これを伐採してほしいが村長の考えは…

**答** 森林管理署とは毎年懇談会をやっている。これも強く要望していく考えである。

### 地区の役員について

**問** 小さな区では毎年役員のなり手がなく苦慮している。これは行政として何らかを考える必要があるではないか。

**答** 行政連絡員会議でも他の区からも出されているので実情をしっかりと見て対応を考えて行くつもりです。

## スポーツ振興・合宿誘致について

吉田広史



松原スポーツ公園 野球場

**問** 村長は村の再生計画の中で、スポーツ振興にも力を入れていく考えを示していますが、村では、今後どのようにして合宿誘致を進めていくのか、また、どのような形で関わっていくのか伺いたい。たとえば合宿など、誘客に成功している市町村では、行政が積極的にPRしているケースが多い。王滝村には、体育館や陸上競技場、野球場など、充実した設備があるにも関わらず、これまでの活用実績は高いとは言えない。今後はこうした施設を積極的にPRしていく必要があると思うがどうか。

**答** 村にはスポーツ振興施設として松原スポーツ公園、国民体育館、テニスコート等々の施設があり、学生を中心としたサッカー、野球、陸上の合宿のほかセルフディスカバリーイベントに利用されているが、利用状況については顕著であるというところまでは至ってない。今後は、少しでも多くの合宿が誘致できるよう観光総合事務所との連携を強化する一方、行政としては下流域との交流関係を軸にして、情報提供を含め、宣伝活動に努めていく。

**問** 今後は、もちろん各事業者の努力も必要であるが、施設の知名度を高めるためにも、施設の紹介や合宿実績など、ホームページやパンフレットを活用しPR強化に努めてほしい。

**答（産業課長）** 長野県では合宿ガイドというパンフレットを作成している。また、「長野県の合宿施設検索サイト」というホームページを県で立ち上げる。それに村としても参加していく。

## 県道の現状と今後の改良の見通しについて他

西村祥夫

### 県道の現状と今後の改良の見通しについて

**問** 県道256号線については、これまで全面通行止めや片側交互通行などを実施しながら行われてきた。

現在補修工事が行われている黒瀬橋の現況と、他の要改修箇所について、県との話し合いがどのように

されているのか。今後の見通しも含めて教えていただきたい。

**答** 黒瀬橋は昭和34年から供用開始されている。昨年から補修工事がされているが、予想以上の老朽化により改めて工事を行っている。5月20日には完了の予定。また近接した法面の亀裂については、6月23日の完了予定である。今後については、改良工事の中で全面通行止めや片側通行を実施することもあるが、10月に予定されているハーフマラソンには支障のないように対応する。県道の現地調査は村が行い、毎年9月頃に県との協議をしている。

**問** 村道1号線を県道の代替道路として安易に使うことには村民の中にも異論がある。また、県道の現況や改修について周知がされているとはいいいない。村と県との協議の場に議会あるいは村民の代表などが参加することはできないか。

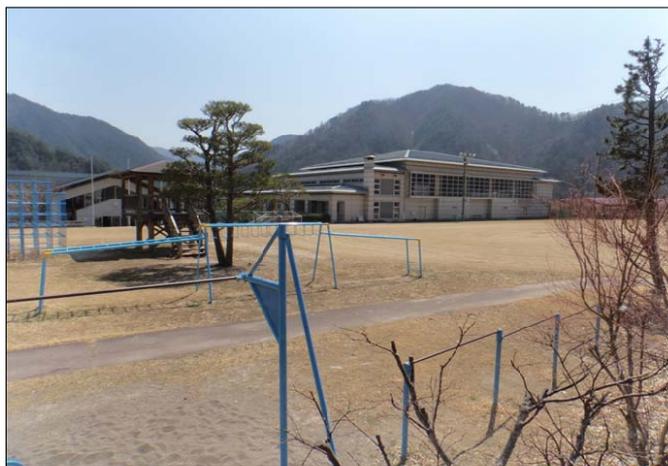
**答** 県との協議の前に村と議会と一緒に現況調査をした上で、村と県が協議を行うという形のほうがいいのではないかと思う。

### 今後の村づくりについて

**問** 2月の改選を経て3期目のスタートとなるが、人口減少と少子高齢化に歯止めをかける有効な手立てを見出すことは難しく、観光立村をうたいながらも、頼りとしていた信者の減少は著しい。王滝村は大きな転換期を迎えていると思われるが、村の観光施設も老朽化が激しく、他の遊休施設の処分や改修も含めると相当な資金が必要となる。財政調整基金の残高が26年度末で13億円を超える見込みとされる中で、村民に村長の確固とした考えや今後の方向性を明確に示す意味からも、目的別の基金の創設を考えてもいいのではないかとと思われるが、村長の考えをお聞きしたい。

答 村の保有施設は、一部の遊休施設も含めて150箇所となっている。1例を挙げると、小中学校の改修には4億9千万円余かかるとの試算もある。言われることは理解するが、今後の地方交付税の推移など

も見ながら検討していきたい。ただ、今の財政調整基金を取り崩して特目基金を創ることまでは考えていない。



25年が経過した王滝小中学校

#### 旧松原住宅の取り扱いについて

問 旧松原住宅については、村が取得した後、改修に想定以上の費用がかかることが判明したこと、また道路拡幅の要望等もあって、現在に至っていると理解している。村長は議会初日の質疑の中で、当該建物は、かつて旅館として使われていた古い建物であり、かなりの費用がかかっても保存していく価値があるとの答弁をしている。予算を計上する時の説明とはまったく異なる答弁であり、あまりにも唐突といえ、到底村民の理解は得られないと考えるが、すべての村民が納得できる説明を求め。

答 旧松原住宅については、事前の調査が甘かったこともあり、庁内でも検討したがなかなか良い案が見当たらない。住宅の取得は失敗だったとの思いもあり、そのことについては陳謝したい。古い建物の保存に積極的ということではなく、あくまでも私見として述べたものであり、費用対効果を考えても簡単に進められることではない。

問 空家も含めて、高齢化が進み後継者も帰って来ない現状から、住宅の処分に頭を悩ます家は増えていくと思われる。失敗といわず、村民の疑心暗鬼を招かないためにも早急に対応策を見出してもらいたい。

## 村長の選挙公約について他

立花裕美子

#### 村長の選挙公約について

問 村独自施策18事業の継続の他に次の5項目を重点施策として掲げているが、それぞれの具体的な施策の展開と実行予定の時期、予算規模、建設予定地などについて伺いたい。

上下流交流の深化 定住人口の確保 遊休農地対策 高齢者にやさしい住環境整備 観光振興と総合事務所との連携

答 役場組織を見直しして、今後の村おこしに向けて村おこし推進課を設けて取り組んでいくという時期である。就任1ヶ月でこの時点であり、1つずつに具体的に述べることはできない。現状では白紙で、4年後に質問いただければ検証して答えることができる。

問 課題山積の中3期目に当たり、敢えて重点施策を掲げられたことに敬意を表したいし応援もしたい。4年後に答をいただけるとのことだが、瀬戸村長を中心とした村づくりという点では歳月は無限ではない。すべてを4年の任期中にとは言わないが、高齢化、人口減少は待ったなしに押し寄せてきている。

そういう視点で今現在のぼんやりとした方向性でもお答えいただき、私からの提案もさせていただきたく、この質問をしている。

25年度中に上下流交流に参画した一般村民はどのくらいいるのか。

答 いままでの行政同士の交流を一般村民まで広げることを目指している。



東郷町でのレガッタ大会

**要望** この答が欲しかったので、一般村民の参画人数を尋ねた。まさに役場職員レベルでの交流を一般村民に広げて欲しい。そのための交通手段の配慮と宿泊費の補助を、今後考えていただきたい。

**問** は村おこし推進課で進めると思うが、その手法は。

**答** 2期目に医療費補助拡大、保育料と給食費の無償化といった取組を実施した。これに加えて住宅施策が必要と考えている。

**要望** 子育て支援について当村は手厚い助成金制度があると思うが、PRが今ひとつと感じる、今後はPRに力を入れていただきたい。また、村おこし推進課で定住促進についてプロジェクトチームを作り作って考えていかれると思うが、その際には、対象者や就労の産業などターゲットを絞って施策を展開していただきたい。

**問** については12月議会で質問しているため、その後の状況の変化等を教えていただきたい。

**答（産業課長）** 村では人農地プランの推進を図り、今月マスタープラン検討委員会を開く。昨年12月、国の法律改正により農地の有効利用の継続や農業経営効率化のため、都道府県に農地中間管理事業を行う法人が設置される。農業を継続できない所有者がこの法人と契約をすることで、村内のみならず都会から来た人にも農業をやっていただけるようになった。

**要望** 一部の農業法人だけが儲かるのではなく、実際に就農される方が利益を得られるしくみとしていただきたい。また、農地集積後、農地バンクを作ると思うが、これを空家バンクとリンクさせ、情報を一元化したバンクとして整備していただきたい。

**問** について、設置主体はどこを想定しているか。

**答** 自宅改修は県の制度でやっていただける。グループホーム等を村が主体となって村内に建設できないかと考えている。運営主体については未定である。

**問** についてどう認識しているか。

**答** これまで観光総合事務所との連携を図ってきたが、村主導だったことは否めない。しかし近年、事務所からの提案から村民一丸となって取り組んでいることもあり、好ましい方向性と認識している。今回の当初予算でもカヌーの牧尾ダムへの展開について提案を受け予算付けを行った。今後も事務所からの提案に側面的に最大限サポートしていくのが連携と考える。

#### 絆助成金について

**問** 昨年末までに各地区や団体からの要望を集約したと聞いているが、どのような内容だったか。ハード面、ソフト面それぞれの件数と要望金額などを伺いたい。

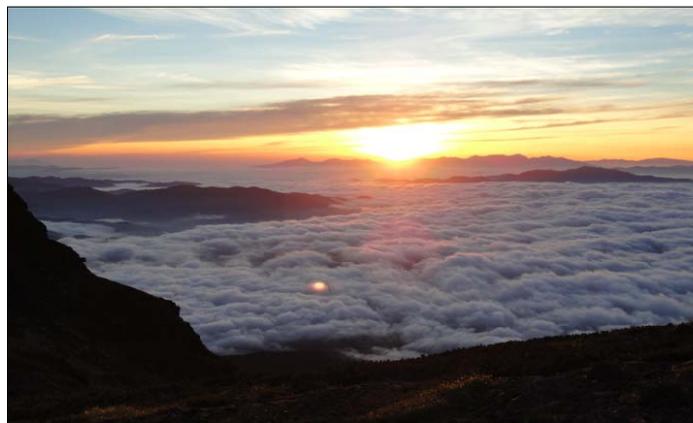
**答（総務課長）** 要項に則り応募があったが、今後金額の変更もある。現時点では自治区7件、公的団体4件の計11件。自治区の総事業費586万7000円のうち338万6000円が要望額で、公的団体は総事業費275万2000円のうち183万8000円が要望額だった。10万円以上の備品をハードとすると自治区はハード6件ソフト1件、公的団体はハード・ソフトそれぞれ2件ずつとなっている。内容としては地区公民館の修繕が6件、備品購入が3件、地域伝承に関するもの、シンポジウム開催が2件である。今後、選考委員会を経て6月補正で対応する。

**問** 事業終了後、報告会等の予定はあるか。また、年度途中の申請受付は考えているか。

**答（総務課長）** 報告会は実施するのが望ましい。検討委員会で考えていきたい。年度途中での申請受付は考えていない。

#### 「信州 山の日」について

**問** 「信州 山の日」に向けた取組として26年度、村で計画していることはないか。



御嶽山のご来光

**答（総務課長）** 県林務課から取組については説明を受けているが、村としては7月27日が例大祭であり、今のところ計画はない。御嶽清掃登山を山の日の取組として位置づけるのも一つの手法かと考えている。

**要望** 2つ提案したい。頂上への登頂記念のピンバッジを配布してはどうか。また、「長野県山の日懇話会」の座長である信州大学の鈴木啓助氏をお呼びして田の原あたりでお話ししていただくのはどうか。

### 避難所運営マニュアル等について

**問** 地域防災計画については昨年3月議会で質問し、先日の26年度当初予算審議の際も現時点での進捗状況等について説明いただき概ね理解している。そうした中で次の2点について伺いたい。

避難所運営マニュアルの策定はどうか。要援護者（障がい者・高齢者）の避難誘導方法を定める「防災避難マニュアル」はどうか。

**答（総務課長）** まず計画書を作って、その後避難所がどこか決まる。災害の種類によって避難所は変わってくる。国や県から運営マニュアルの指針は受けている。災害発生時、役場職員は被害情報の集約と発信、食糧や物資の確保、危険個所

への対応等で避難所への職員配置は難しくなる。そういう理由から避難所は自主運営となるが、策定はこれからである。

**答（住民課長）** 防災計画の中で在宅者対策として少しあるがまだ細かいことまで触れていない。24年度に安否確認のための要援護者支援システムを整備した。システムにはいろいろな情報を登録しており、有事の際に活用する。これを防災計画に盛り込んで避難誘導に努めたい。



防災訓練 災害対策本部

## 平成26年松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会報告

### 1. 本会議 (1) 提出議案

#### 平成26年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計予算

予算...総額44億6,800万円（前年度当初予算対比4.0%減）

収入...施設利用率は0.5ポイント減の91.5%を見込み、介護報酬改定分（改定率+0.63%）を反映している。

支出...人件費が27億3,000万円余（61.1%）を占める。施設環境整備事業費1,250万円ほか、喀痰吸引等研修事業費として1,335万円などを計上した。

平成25年度松塩筑木曾老人福祉施設組合一般会計補正予算（第3号）...サービス収入減による財政調整基金繰入金の増額、燃料費・電気料・工事請負費の増額補正

### (2) 審議結果

2 議案とも全会一致で可決

2. 全員協議会  
組合施設の利用者定員について...重い介護度の利用者ニーズへの対応の強化と特化にむけて施設入所と短期入所の定員配分を見直すもの。  
説明を受け、了承した。

# 木曾広域連合議会定例会報告

平成26年木曾広域連合議会第1回定例会は2月28日に開会され、提出された議案すべてを可決、同意した。また、南木曾町の山崎氏、高橋氏と上松町の澤木氏が一般質問を行った。議会終了後、全員協議会が開かれ、3項目について説明があった。主な内容は次のとおり。

## 木曾広域消防本部消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定

消防長及び消防署長は消防に関する知識及び経験を有することを前提とするもの。

## 木曾広域連合障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部改正

障害者総合支援法の改正に伴い、字句の改正をするもの。「障害程度区分」の記述を「障害支援区分」に改める。

## 木曾地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

ケーブルテレビのオプションであるインターネット契約について追加加入する場合の利用申し込み料が21,000円と高額であるため、追加加入しやすいように2,100円に引き下げる。また、事業所向けインターネットラージプランが他社より割高になっているため引き下げるもの（月額5,250円を3,800円に）。

## 平成25年度一般会計補正予算

2,351万1千円を減額補正。各事業の進捗による負担額の決定や不用額の補正等に伴う増減を補正するもの。

## 平成25年度介護保険特別会計補正予算

49万8千円を増額補正。

## 平成26年度一般会計予算

前年比1億6,135万4千円減の28億7,665万5千円。歳入の主なものとして分担金及び負担金の1億6,967万9千円減、使用料及び手数料の3,036万9千円増、繰入金の1,983万9千円減などがあげられる。歳出では高機能消防通信指令台整備事業の完了に伴う消防費の1億6,624万9千円減や衛生費の1,465万2千円減などが目立つ。

## 平成26年度介護保険特別会計予算

前年比1億4,375万1千円増の40億4,056万4千円。第5期の第1号被保険者の保険料基準額は月額基準額5,070円（年額60,840円で平成24～26年度3年間同額）と計画している。歳入の主なものは保険料、町村負担金、支払基金交付金、国庫支出金、県支出金等である。歳出の主なものは総務費、保険給付費、地域支援事業費等である。

## 木曾広域連合副管理者の選任

木曾町、古幡勝彦氏の選任に同意した。

## 全員協議会

### 1. 消防救急無線デジタル化整備及び高機能消防通信指令台整備事業の概要について

今まで別々の装置で受信していたNTT固定電話、IP電話、携帯電話からの119番通報が、一つの装置で受信できる。また、通報がモニターの地図に位置表示されるため、災害場所の特定が早くなり、現場到着までの時間が短縮される。26年3月末に整備完了となる。

### 2. ケーブルテレビ利用者アンケートについて

デジアナ変換期限（～平成27年3月末）の認知度は80%で、広報活動が必要。IP電話は無料サービスということもあり、73%の方に利用されている。自主放送については、興味を持てる、地元密着の情報がよい等の意見が出された。

### 3. 新ごみ処理施設建設に係る事業費について

平成28～29年度に施設建設工事予定、単独費用は1億7,085万円余。新焼却炉は24t（12×2炉）で、稼働開始は平成30年4月予定している。

## 請願と陳情

3月定例会で審議された請願・陳情等の採択・不採択状況は下記のとおりです。

「TPP決議の実現を求める意見書の採択を求める陳情書」（採択）

以上1件の案件を採択し、関係機関へ意見書を提出した。

## 王滝村人権擁護委員に 植木雅史さんを選任

王滝村人権擁護委員の任期満了に伴い、植木雅史氏が再任された。

任期は平成26年7月1日から  
平成29年6月30日まで。

## 編集後記

子育てに思う」

日本は「みんな一緒に」との風潮が強いため、発達や速度や学び方に個人差があることをなかなか認めてもらえない。親は他の子と比べて焦りを覚えることも多く、手を貸しすぎたり、反対に経験のチャンスを消してしまったりすることもある。

特に学齢期になると、わが子の学びに関するまどいや取り組み姿勢について、先生を含めた“世間”から責められているようにすら感じることもある。完璧な子育てなんて誰にもできないが、先輩や仲間、理解ある先生、あたたかい地域の人たちの助けを借りて、支えあいながら子育てできる、そんな村を目指したいものだ。（裕）

## 議会日誌

### 12月

- 11日 議会だより編集特別委員会
- 25日 例月出納検査（11月分）

### 1月

- 6日 議会だより編集特別委員会
- 8日 王滝村消防団出初式
- 15日 議会だより122号発行
- 17日 長野県地方自治政策課題研修会（長野市）
- 23日 例月出納検査（12月分）
- 24日 木曾町商工会新年賀詞交歓会（木曾町）
- 31日 町村議会正副議長・町村議会正副常任委員長研修会（安曇野市）

### 2月

- 2日 王滝村長選挙
- 17日 木曾広域連合議会経済観光常任委員会  
" 木曾広域連合議会福祉環境常任委員会（木曾町日義）
- 18日 議会運営委員会
- 19日 松塩築木曾老人福祉施設組合議会定例会（塩尻市）
- 20日 木曾広域連合議会議会運営委員会  
" 木曾広域連合議会総務常任委員会（木曾町日義）
- 25日 王滝村村有林運営審議会  
" 長野県町村議長会第18回定期総会（長野市）  
木曾広域連合議会臨時議会（木曾町日義）
- 27日 例月出納検査（1月分）
- 28日 木曾広域連合議会2月定例会（木曾町日義）  
" 木曾郡町村議会議長会（木曾町日義）

### 3月

- 3日 全員協議会
- 7日 議会3月定例会（開会）  
" 議会運営委員会
- 11日 高機能消防通信指令台竣工式（木曾町）
- 17日 小中学校卒業式
- 18日 議会3月定例会（閉会）
- 20日 保育園卒園式
- 26日 田の原天然公園の環境を守る会総会  
" 例月出納検査（2月分）
- 29日 国道19号棧改良工事開通式典（上松町）

### 4月

- 7日 議会だより編集特別委員会
- 15日 議会だより122号発行